

「税への信頼確保」 中田氏が抱負語る

名古屋国税不服審判所長



就任の抱負を語る中田悟所長
岐阜新聞本社

7月に名古屋国税不服審判所長に就任した下呂市出身の中田悟氏(55)が25日、岐阜新聞本社で矢島薫社長

と面談し「地元で税への信頼確保に貢献したい」と抱負を語った。

中田氏は1987年大蔵

省(現財務省)入省。宮内庁長官官房主計課長や東北財務局長、日本たばこ産業(JT)財務副責任者などを歴任した。同審判所は東海4県を管轄し、国税に関する処分を不服とする納税者からの審査請求を第三者的機関の立場で裁決する。審判所の役割には「公正さが求められる。信頼の確保に大きな役割を果たしている」と強調。来年5月に国税不服審判所が設立50周年を迎えることに触れ「審判所の役割をPRしたい」と話した。